大塚教育

令和７年度　５月号
文京区立大塚小学校
校長　　山下　智美
３９４６－３４２１

仲の良い大塚小学校の子供たち

副校長　三好　紀子

１年生と転入生、そして私を含めた新しい教職員が大塚小学校の仲間となって１ヶ月が経とうとしています。どの教室を覗いても、子供たちは新しいクラスにすっかり慣れ、笑い声や歌声、しっかりとした発言、笑顔や真剣な表情などで溢れています。

私は、大塚小学校に今年４月１日に着任し、子供たちとは７日の始業式・入学式で初めて対面しました。その時の第一印象は、「素敵な挨拶ができる子供たち」です。着任の挨拶では、「早く皆さんと仲良くなりたいので、たくさん声を掛けてください。」と手話を交えて話をしました。その日から、たくさんの子供たちが元気いっぱいの挨拶をしてくれて、「副校長先生」と話し掛けてくれる子もいます。とても嬉しく、毎日、子供たちから元気をもらっています。

さて、４月２３日（水）、１年生を迎える会が行われました。どの学年も本番へ向けて、教室や体育館からは発表の言葉や歌声が聞こえ、動きの確認なども含め、丁寧に練習を重ねていました。そして当日、最初は１年生の入場です。６年生が１年生と手をつなぎ、１年生をリードしてくれました。入場直前の廊下で待っている間は、優しく１年生の手を取り、中には１年生の緊張をほぐすように話し掛けている６年生もおり、とても微笑ましい光景でした。

次は、１年生にとってお兄さん・お姉さんである２～６年生の発表です。プレゼントを用意したり、歌やクイズ、寸劇で学校を紹介したりと、どの学年も工夫を凝らし、それぞれの学年のカラーを生かした内容でした。

その後、上級生の発表のお礼として、１年生が「ドキドキドン！一年生」を歌いました。大勢の前で緊張した様子もありましたが、可愛い振り付けも交えながら、元気な歌声を披露してくれました。

１年生も含めすべての学年が、発表している学年に注目し、静かに話を聞き、楽しむ場面では一緒に盛り上がり、大塚小学校全ての子供たちの一体感と仲の良さを感じることができました。そして２～６年生は、全校児童の仲の良さをアピールし、「困ったことがあったら、自分たちを頼ってください。」と呼び掛ける、優しさと頼もしさ、なにより「進級した僕たち・私たち」という誇りと自信に満ち溢れる発表でした。１年生は、長い時間ずっと２～６年生の注目を浴びる中、落ち着いて体育館正面に座って会に参加でき、歌も発表できました。計画委員会の子供たちの司会は、さすがは上級生という立派なもので、どの学年も素晴らしく、素敵な会になったことに、子供たち全員に「ありがとう！」、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

これから１年生は、学校生活にもっと慣れて、楽しく学んだり経験したりしながら、大塚小学校の良いところを探し、発見していくことでしょう。２～５年生は、様々な学習の中で大塚小学校の良いところをさらに見つけるとともに、上級生の姿に憧れつつ下級生にとって良いお兄さん・お姉さんを目指してくれることでしょう。６年生は、最高学年として下級生のお手本となり、大塚小学校を引っ張っていく存在になってくれることでしょう。子供たち一人一人の頑張りや成長、この一年でどんな姿を見せてくれるか楽しみです。

５月の生活目標　「すすんであいさつをしよう」　　生活指導主任　冨田　康輔

大塚小学校の朝は、元気な挨拶が飛び交っています。大塚小の６年生は、朝の時間を使って１年生のお世話をします。１年生も６年生も元気な声で「おはようございます！」と挨拶をし合い、聞いていてとても気持ちがよくなります。担任をしている教室に向かうと、５年生も元気よく挨拶をしてくれます。主事さんに「ありがとうございます！」と言ったり、調理師さんに「おいしかったです！」と言ったりする児童も見かけます。そばで見ていて嬉しい気持ちになります。

「こんにちは」「いただきます」「さようなら」…挨拶にはたくさんの言葉があります。そして、挨拶は言葉だけでなく、表情や目線、体の動きでも気持ちが伝えられます。子どもたちが、これら様々な表現手段を上手に使って、自分も周りの人とも気持ちよく過ごせるように指導していきます。